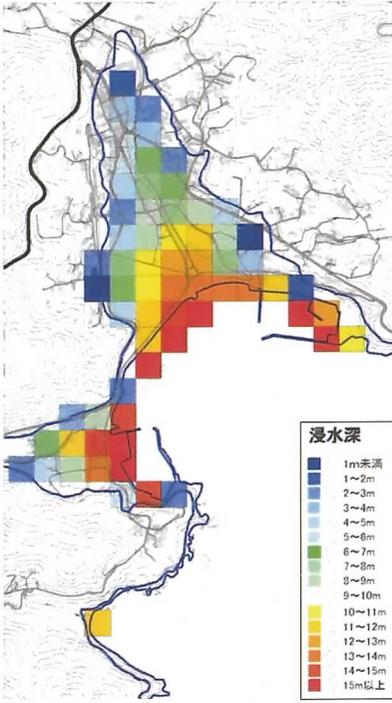
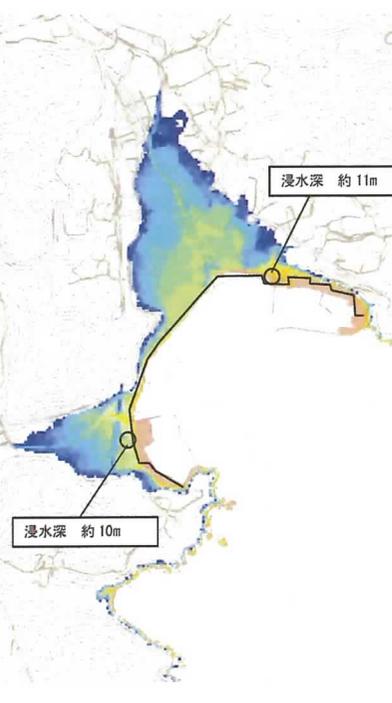
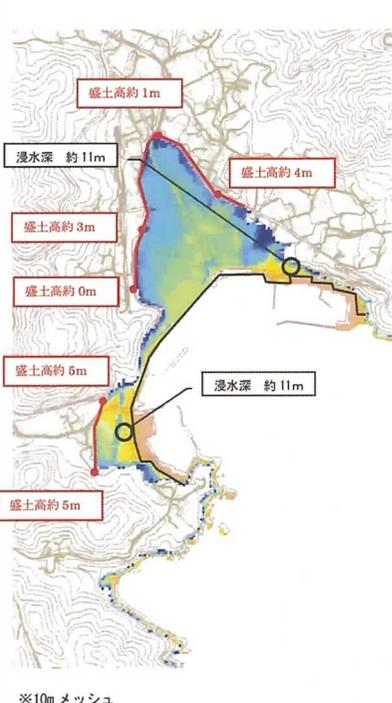
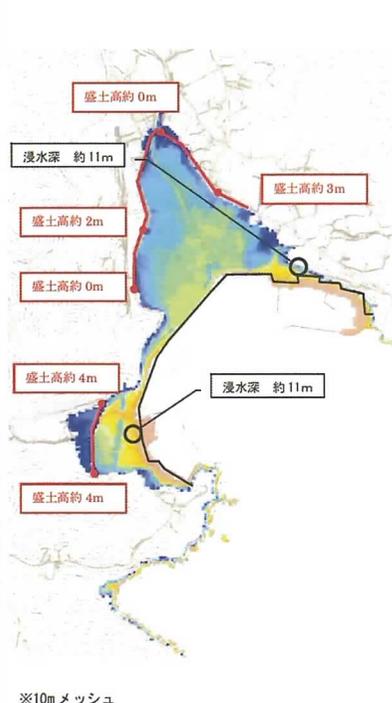


■越喜来地区①

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	1. 3/11 時の津波（今次津波）の浸水深【浸水結果】	2. 防潮堤のみ整備の場合の津波シミュレーション (既往最大津波(東日本大震災津波)の場合)	3-1. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション【道路嵩上げで止めるケース】	3-2. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション【浸水深 2m まで許容するケース】
<p>図面</p>	 <p>※100m メッシュ</p>	 <p>※10m メッシュ (防潮堤 T.P. +11.5m)</p>	 <p>※10m メッシュ (防潮堤 T.P. +11.5m)</p> <p>浦浜：道路嵩上げの高さが最低T.P. +11.0mあれば背後の浸水を防げる。 泊：道路嵩上げの高さが最低T.P. +15.0mあれば背後の浸水を防げる。</p>	 <p>※10m メッシュ (防潮堤 T.P. +11.5m)</p> <p>浦浜：道路嵩上げの高さがT.P. +10.0mあれば背後の浸水を1m未満にできる。 泊：道路嵩上げの高さがT.P. +14.0mあれば背後の浸水を2m未満にできる。</p>
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防潮堤 (T.P. +11.5m) の整備により、浸水区域が狭くなる。 ・ 浦浜地区では道路嵩上げを約 1~3m 程度行うことで、背後の浸水を概ね抑えることができる。 ・ 泊地区では道路嵩上げを約 4m 程度行うことで、浸水深を約 2m 未満に抑えることができる。 			

— : 防潮堤の位置 (シミュレーション上の想定) — : 道路嵩上げの位置 (想定)